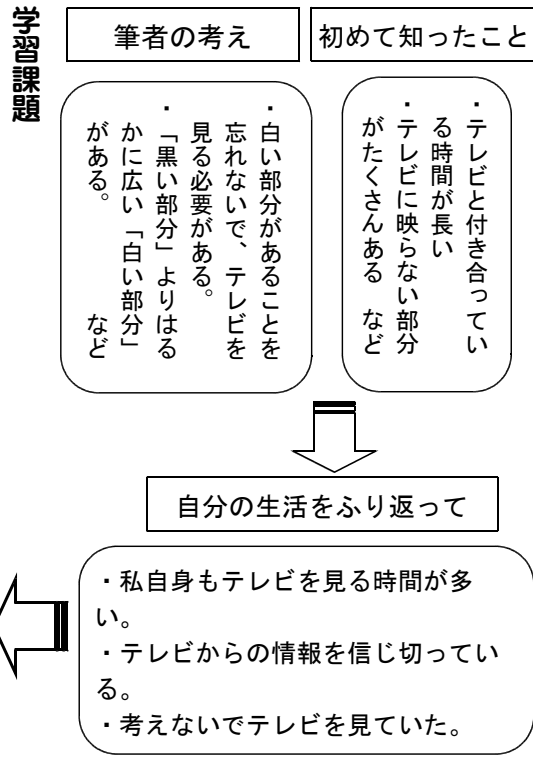


メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう  
めあて

「テレビとの付き合い方」を読んで、感想を交流し、学習計画を立てよう。



メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう。

学習 2		学習 1						
意見文にまとめる		「テレビとの付き合い方」を読む						
9	8	7	6	5	4	3	2	1
意見文を交流し、考えを深める。	テレビ番組やコマーシャルについて意見文にまとめる。	自分で選んだテレビ番組やコマーシャルについてメモを作る。	写真との付き合い方をまとめる。	本論部分の筆者の考えを読み取る。	本論部分の内容を整理する。	序論部分の内容を整理する。	文章構成を確認し主張を読み取る。	学習課題を決定する。

【1 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」①  
本時のねらい

アンケートの結果や初発の感想を基に、学習課題を決定し、読みの見通しをもたせる。

- 1 「事前アンケート」を使って、メディアとの関わりについて事前調査を実施しておきます。  
※ アンケート結果については、グラフや表にして、広用紙や電子黒板を利用して提示します。
  - 2 アンケート結果を見て話し合う。  
○ メディアとの関わりについてのアンケート結果を見ながら、テレビなどのメディアに依存している傾向にあることを確認させる。  
※ 自分たちの現状を把握した上で、教材文を読むことで、児童に読みの必然性をもたせることができます。
  - 3 「テレビとの付き合い方」を読み、感想を書く。  
○ 「初めて知ったこと」「筆者の考え」「自分の生活をふり返って」などの視点で感想を書かせる。
  - 4 感想を全体で交流する。  
○ 筆者は、テレビと付き合う際の注意点についての意見文を書いていることを確認させる。  
○ 自分の生活を振り返って改善していく点もあることを感じ取らせる。  
※ 筆者の考えと自分の現状を比べながら話し合いを進めることで、学習課題を決定していく際の動機付けとします。  
※ メディアと関わっていく際の意識の向上も必要であるということを感じ取らせます。
  - 5 単元のめあてや学習の流れを確かめる。  
○ メディアとの関わりについての意見文にまとめるという学習課題を決定する。  
※ 学習課題を解決するために、筆者の意見や述べ方の工夫についても読み取る必要があることを補足します。  
○ 学習課題を解決していくための計画を立てさせます。
- 次時は、文章構成について読み取っていくことを確認する。
- 評価 メディアとの関わりについて関心をもち積極的に話し合っている。(関)

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう  
めあて

文章構成を考え、筆者の主張を読み取ろう。

## 文章構成表

結論	本論	序論	構成
⑦	⑥ ⑤ ④ ③	② ①	形式段落
筆者の主張	意見や具体例	話題提示	おおまかな内容

筆者の主張

わたしたちは、伝えられる映像の外にある部分をわすれないようにしながら、テレビと付き合う必要がある。  
(四十九字)

筆者の意見の述べ方のくふう



問いかけ

(くではないでしょうか。)

効果

読者への呼びかけ  
読者への問題提起

が強まる。

【2 / 9時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」②  
本時のねらい

- ① 序論・本論・結論のまとまりを考えさせ、文章全体の構成を理解させる。
- ② 文章構成表を基に、筆者の主張を読み取らせる。

1 学習計画表を見て本時の学習内容とめあてを確認する。

- 本時は、文章構成を考えながら、筆者の主張を読み取っていくことを確認させる。

2 文章構成表を見ながら、本文を序論・本論・結論に分ける。

- まず、形式段落に分けさせる。
- 文章構成表を提示し、それを基に、序論・本論・結論のまとまりに分けさせる。

※ 既習教材で学習していることを想起させ、説明的な文章の構成について振り返らせるとよいでしょう。

- 各まとまりに書かれているおおまかな内容について、児童と一緒に話し合いながら確認する。

3 文章構成表を基に、筆者の主張をつかむ。

- ⑦段落の二文を比べて考えさせる。
- 筆者の主張を五〇字以内でまとめさせる。

※ 後の文中にある「白い部分」という表現に疑問をもつ児童が現れる可能性もあるので、前の文の「映像の外にある部分」と置き換えて考えることにより、本論の学習も意識させます。

4 筆者の意見の述べ方の工夫について考える。

- 筆者の意見の述べ方の工夫として、読者への問い掛けの形で終わっていることについて考えさせ、このことからメディアとの関わり方を考えていくことが必要であることを押さえる。

評価 ① 文章全体の構成を理解している。

- ② 筆者の主張を読み取っている。

(言イ(キ))

(読ウ)

5 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

- 次時は、序論部分を読み取り、本論の構成について考えていくことを伝える。

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう  
めあて

序論部分のグラフの効果と本論の構成について考えよう。

序論

教科書 103 ページ  
のグラフを提示

グラフから読み取ったこと

- ・ テレビを見る時間が一番長い。
- ・ ラジオや新聞は少ない。
- ・ 役に立つメディアの中ではテレビが一番多い。

筆者の意見の述べ方のくふう



グラフの使用

効果

テレビが最も身近なメディアであり、えいきょう力が大きいことを、印象づける。

本論

本論		構成
⑥ ⑤	④ ③	形式段落
具体例		おおまかな内容
		筆者の意見

【3 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」③  
本時のねらい

- ① 筆者の意見の述べ方の工夫としてグラフを用いていることを読み取らせる。
- ② 内容や接続語などに注意して、本論部分を筆者の考えと具体例の部分に分けさせる。

- 1 学習計画表を見て、本時の学習内容とめあてを確認する。  
○ 本時は、序論部分を読み取った後、本論部分の構成について考えていくことを確認させる。

- 2 序論部分を読み、グラフの内容について話し合う。

- グラフから読み取ったことを基に、アンケート結果も絡ませながら、テレビが最も身近なメディアであることや、その影響力などについても意見を述べさせる。
- ※ 筆者の主張部分「テレビと付き合い合っていく必要がある」という表現から、「どうして筆者は、このように言っているのか」と投げ掛け、序論部分にそのきっかけがあることを押さえながら序論部分の読み取りに入ります。

- 3 筆者の意見の述べ方の工夫について考える。

- 筆者の意見の述べ方の工夫として、グラフを用いた意図や、どのような効果があるのかについて考えさせ、ワークシートに記入させる。

評価 ① 筆者の意見の述べ方の工夫として、グラフを用いていることに気付いている。  
(読む)

- 4 本論部分の四つの段落を筆者の考えが書かれている部分と具体例が書かれている部分に分ける。

- ※ 「しかし」「このことを」「もっと」などの言葉を手掛かりに意見部分③④段落、図と具体例の部分⑤⑥段落に分けさせます。

評価 ② 本論部分を書かれている内容や接続語などに注意して、筆者の意見が書かれている部分と具体例が書かれている部分に分けている。(言イ(キ))

- 5 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

- 次時は、図の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉について考えていくことを伝える。

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう  
めあて

「黒い部分」と「白い部分」の図の意味を考えよう。

○「黒い部分」と「白い部分」の意味を整理しよう。

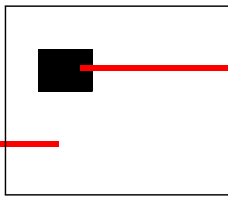
**黒い部分**

テレビカメラが切り取る部分。すべてであるかのような錯覚さつかくにおちいる。

**白い部分**

黒い部分よりもはるかに広い。その存在をわすれがちになる。(報道されなかった事実の部分)

○本論部分の他の段落を読んで、「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を見つけよう。



**白い部分**

- 世界中の出来事や動き
- 実際の出来事にふくまれるぼうだいな量の情報
- さまざまな出来事

など

**黒い部分**

- テレビの送り手が集め、選び、編集して届ける情報
- ほんの一部
- だれにでも受け入れてもらえそうな、そのごく一部

など

【4 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」④  
本時のねらい

「黒い部分」と「白い部分」の図に当てはまる文章中の言葉を読み取らせる。

1 前時の学習内容を振り返りながら、学習計画表で本時の学習とめあてを確認する。

○ 本時は、「黒い部分」と「白い部分」の図の意味を理解し、それぞれに対応する文章中の言葉を整理していくことを確認させる。

2 「黒い部分」と「白い部分」の図の意味を理解する。

○ まず、図の意味をしっかりと理解させるために、⑤段落に限定して読ませ、「黒い部分」と「白い部分」の説明に当てはまる箇所を見付けさせ全体で確認する。

3 ③④⑥段落より、「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を書き出す。

○ それぞれに当てはまる言葉をマーカーでマークしながら本論部分を読ませる。

※ マーキングや付箋は、それぞれ黒と白に対応する色を用意します。

○ 付箋に書き出した言葉を、ワークシートの図に整理して貼らせる。

※ まとまりを考えて、分かりやすく貼っていくように助言します。

○ 学級全体で交流し、確認させる。

評価 図の意味を理解し、「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を見付けている。(読ウ)

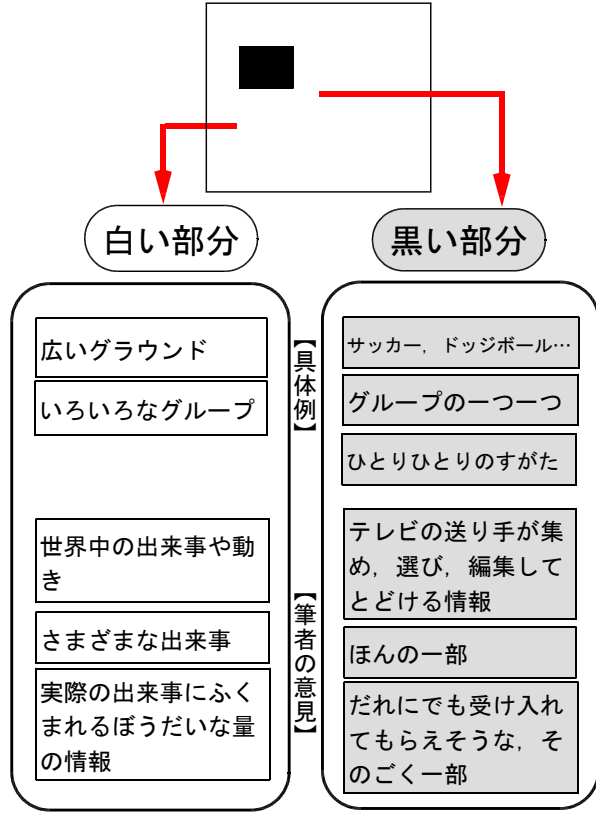
4 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 次時は、筆者の考えや意見の述べ方の工夫について考えることを伝える。

※ みんなで見付けた「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を、短冊に書いて準備しておくことで次時に便利です。

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう  
めあて

筆者の考えを読み取り、意見の述べ方の工夫を考えよう。



○筆者が図を使って伝えたかったことは何だろう。  
わたしたちはテレビを見るだけで分かったつもりになるが、テレビからとどけられる情報はほんの一部であり、報道されなかった事実の中には、もっと重要な情報もたくさんある。

筆者の意見の述べ方のくふう  
図や具体例を用いる

効果  
自分の考えを読者になっとくさせ、より分かりやすく伝えることになる。

【5 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」⑤  
本時のねらい

「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を整理し、図や具体例を用いている筆者の意見の述べ方の工夫に気付かせる。

1 学習計画表を見て、本時の学習内容とめあてを確認する。

○ 本時は、前時に見付けた「黒い部分」と「白い部分」の言葉を整理し、筆者の意見を読み取っていくことを確認させる。

2 「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を整理する。

○ みんなが見付けた「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を、話し合いながら整理させる。

※ 子どもたちのワークシートを事前にチェックしておき、あらかじめ短冊に言葉を書き出しておきます。

○ 白か黒かを考え、最初に発表した児童に実際に黒板で操作させ、話し合いながら整理していく。

※ 「白い部分」と「黒い部分」との対応関係や具体例と筆者の考えのまとめりについては、その区別が分かるように教師と一緒に分類していきます。

※ 「サッカーやドッジボール、おにごっこ、なわとび」という表現は個々を見れば「黒い部分」に当てはまりますが、文章の流れからは、「白い部分」とも取れるので、状況に応じて補足説明します。

3 筆者が「黒い部分」と「白い部分」の図を使って伝えたかったことをまとめる。

※ 整理した「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を参考にまとめさせます。必要があれば「錯覚」「見えなくなる」などの言葉を使ってもよいことを伝えます。

4 筆者の意見の述べ方の工夫について考える。

○ 筆者の意見の述べ方の工夫として、筆者が図や具体例を用いた意図や、それにはどのような効果があるのかについて考えさせる。

※ 自分の意見を納得させたり、より分かりやすく伝えたりするために、図やグラフを用いていることを押さえます。

評価 筆者の考えを読み取り、図や具体例を用いている筆者の意見の述べ方の工夫に気付いている。  
(読ウ)

5 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 次時は、資料部分について読み取っていくことを伝える。

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう  
めあて

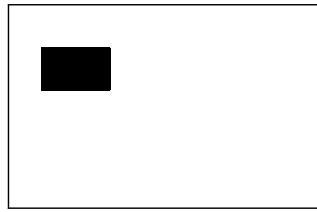
資料「写真の伝わり方」の内容を、「黒い部分」と「白い部分」を使って説明しよう。

筆者が伝えたかったこと

このように

同じものの写真であるにもかかわらず、どの角度から見ると、どの部分を切り取るかによって、ずいぶんと伝わるイメージは変わる。

○「写真の伝わり方」の内容を図や写真を使って説明しよう。



白い部分

黒い部分

教科書 106 ページ  
写真②を提示

教科書 106 ページ  
写真①を提示

教科書 107 ページ  
写真④を提示

教科書 107 ページ  
写真③を提示

「テレビとの付き合い方」「写真の伝わり方」に共通して言えること

黒い部分は 一部 を表している、  
白い部分は 全体 を表している。

【6 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」⑥  
本時のねらい

資料「写真の伝わり方」から筆者の考えを読み取り、図や写真を使って説明させる。

1 前時の学習を振り返りながら、学習計画表で、本時の学習内容とめあてを確認する。  
○ 本時は、資料「写真の伝わり方」の内容を、「黒い部分」と「白い部分」の図を使って説明することを確認させる。

2 資料「写真の伝わり方」を読み、筆者の考えを読み取る。  
○ 筆者が資料「写真の伝わり方」で伝えたかったことを読み取らせる。  
○ 「このように」という言葉に着目させ、具体例（写真の説明）が書かれている部分と筆者の考えが書かれている部分に分けさせ、考えを読み取らせる。

3 「黒い部分」と「白い部分」の図を使って内容を説明する文章を書く。  
○ 四枚の写真を「黒い部分」と「白い部分」に当てはめて考えさせ、二つの言葉を使って説明させる。  
※ 発表の際には、必要に応じて提示した写真を児童に移動させながら発表させます。

4 書き上げた説明する文章を交流し、書かれている内容をまとめる。  
○ 各自で書いた文章を基に、図や写真を使って発表させ、書かれている内容を確認させる。

5 筆者の考えの一般化を図る。  
○ 「テレビとの付き合い方」と資料「写真の伝わり方」から、筆者の考えの共通する部分を考えさせる。  
※ 共通して言えることを一文にまとめたもののキーワードを考えさせます。

評価 筆者の考えを読み取り、図や写真を使って説明している。  
(読ウ)

6 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 次時は、自分で選んだテレビ番組やコマースシャルについて、意見文にまとめるためのメモを作成することを伝える。  
※ 意見文にまとめるための題材（番組等）について確実に用意ができていますか確認しておきます。

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう  
めあて

意見文にまとめるための構成メモをつくろう。

構成メモ

○ 題名

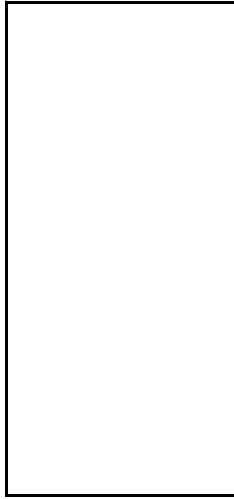
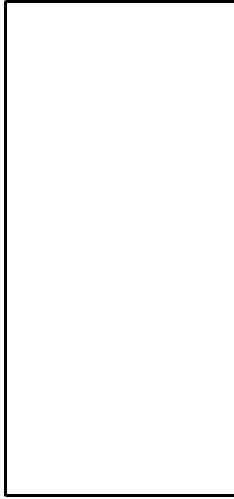
○○○○○とのかかわり方

○ 選んだメディアの持ちよう

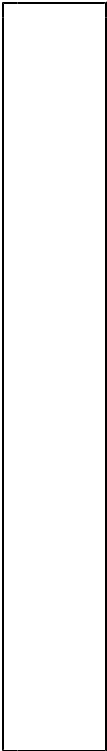


「白い部分」

「黒い部分」



○ 自分が考えたこと（意見）



【7 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」⑦  
本時のねらい

自分が選んだメディアについて、図の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまるものを考えさせる。

1 前時の学習を振り返りながら、学習計画表で、本時の学習内容とめあてを確認する。

○ 本時は、あらかじめ選んでおいたメディアの内容を、図に当てはめながら整理していくことを確認させる。

※ メディアの種類については、テレビ番組やコマーシャル、新聞、広告などがありますが、その他のもので書きたい児童がいればそれも認めます。

※ まだ、決めていなかったり決められなかったりしている児童には、教師側でいくつか材料を用意しておきます。

2 構成メモに、メディアの内容を整理する。

○ 構成メモに、「題名」「選んだ情報の特徴」「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる内容「自分が考えたこと」をメモさせます。

※ なかなかメモが書けない児童には、教師側で具体的なものを（広告ちらし、インターネットの画面）などを用意しておき、メモの書き方について説明します。

※ ワークシートに直接書くか、四時目で使用したように付箋を利用させるかは、学級の実態に応じて判断します。

※ 「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる内容は、できるだけ具体的に、たくさん書かせるようにします。

※ 「黒い部分」と「白い部分」に児童の書いた内容がきちんと対応しているか、個別に指導します。

※ 早く終わった児童には他のメディアでも思い付くことはないか投げ掛けます。

※ 「自分が考えたこと」の欄には、そのメディアとの関わりについて考えたことを自分の言葉で書くように指示します。

評価 自分が選んだメディアについて、「黒い部分」と「白い部分」の図に当てはめながら内容を整理している。  
(読イ)

3 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 次時は、構成メモを基に意見文にまとめていくことを伝える。

メディアとわたしたちとのかかわりについて考えよう  
めあて

意見と具体例との関係に注意して、意見文にまとめよう。

○ 意見文にまとめるときの条件

- ① 『( ) とのかかわり方』という題名をつける。
- ② メディアの特ちょうについて書く。
- ③ 内容の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる具体例を書く。
- ④ 自分が取り上げたメディアについて具体例から言えること、あるいは今後のメディアとのかかわり方について自分の考えを書く。
- ⑤ 文末表現を工夫する。「〜しないでしょか。」「〜しましょか。」など

☆ 「白い部分」のヒント

※想像してみよう

- ・ ちがう場所でも同じことが言えるか。
- ・ ちがう時間でも同じことが言えるか。
- ・ ちがう考えの人がさつ影するところのような場面になるのか。

【8 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」⑧  
本時のねらい

意見と具体例との関係に注意して、メディアとの関わりについての意見文をまとめさせる。

1 前時の学習を振り返りながら、学習計画表で、本時の学習内容とめあてを確認する。  
○ 本時は、前時に作った構成メモを基に意見文にまとめ、時間があれば発表の練習も行うことを確認する。

2 意見文にまとめる。

○ 条件に従って自分が選んだメディアについて意見文にまとめさせる。  
※ 以下の条件を提示して書かせていきます。

- ① 『( ) とのかかわり方』という題名を付ける。
  - ② メディアの特徴や普段の関わり方などを書く。
  - ③ 内容の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる具体例を書く。
  - ④ 自分が取り上げたメディアについての自分の考えを書く。
  - ⑤ 文末表現を工夫する。「〜ではないでしょか。」「〜しましょか。」など
- ※ 「黒い部分」はメディアから得られる情報をそのまま書くことよいのですが、「白い部分」は想像して書くことになるので、必要に応じて板書のようなヒントを与えます。

3 発表の練習をする。

※ 早く終わった児童には、必要があれば発表の際に使用する写真などの準備をしてよいことを伝えます。

評価 意見と具体例との関係に注意して、意見文にまとめている。(読イ)

4 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 次時は、お互いに紹介し合い、メディアとの関わりについて考えを深めていこうと投げ掛ける。



メディアとわたしたちとのかかわりについて考えよう  
めあて

メディアとのかかわりについて考えを深めよう。

○ 交流の方法

- ・ 学級を二つのグループに分けます。
- ・ 「発表する人」と「聞く人」は、交代します。
- ・ できるだけたくさんの方の意見を聞くようにします。

○ 聞くときのポイント

- ・ 「黒い部分」と「白い部分」に分けて説明しているか。
- ・ 自分の考えを具体例を挙げてしっかりとまとめているか。
- ・ 自分の考えと比べてみてどうか。

聞き終えたら、右のポイントをふまえて、分かりやすかったかどうかなどのコメントをしましょう。

○ これからのメディアとのかかわり

すみずみまでよく見たり、見えない部分を想像したりしながら、メディアとのかわっていくようにする。

【9 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」⑨  
本時のねらい

各自が書いた意見文を交流させることで、メディアとのかかわりについての考えを深めさせる。

1 前時の学習を振り返りながら、学習計画表で、本時の学習内容とめあてを確認する。  
○ 本時は、それぞれが書いた意見文を学級全体で交流し、メディアとのかかわりについて考えをまとめていくことを確認させる。

2 意見文を交流する。

○ まず、グループ内で意見文を紹介させる。  
○ その後、学級を「発表する側」「聞く側」の二つに分け、時間を区切って交代させる。

※ 聞く側には、「聞くときのポイント」を提示し、真剣に発表を聞かせます。  
※ 「聞くときのポイント」に基づいてコメントするように伝えます。

3 これからのメディアとのかかわりについて考えを書く。

○ これから自分が様々なメディアとのかかわりについてかかをまとめてさせる。

4 これからのメディアとのかかわりについて全体で交流する。

○ 数人に発表させ、学習のまとめとする。

評価 意見文を交流することで、メディアとのかかわりについて考えていることと  
している。  
(関)

5 単元全体の学習を振り返る。

○ これまでのワークシートや意見文を各自で再度読ませ、単元で学んだことを発表させ、学習のまとめとする。

# メディアについてのアンケート

5年 名前



メディアとは、テレビや新聞、雑誌、インターネットなど、わたしたちに様々な情報を伝えてくれる手段のことです。

- 1 あなたは、いろいろな情報を得るために、どのようなメディアを利用していますか。一番よく使うものを教えてください。

- 2 あなたは、そのメディアを1日にどれくらい利用していますか。

平日

 時間

土・日

 時間

- 3 あなたが、そのメディアについて思っていることや感じていることを書きましょう。


めあて

「テレビとの付き合い方」を読んで、感想を交流し、学習計画を立てよう。

1 「テレビとの付き合い方」を読んで感想を書こう。

2 学習課題

- 初めて知ったこと
- 筆者の考え
- 自分の生活をふり返って  
などの視点で書いてみましょう。



# 学習計画

学習 2			学習 1						週	
意見文にまとめる			「テレビとの付き合い方」を読む						日	
9	8	7	6	5	4	3	2	1	時	
									学習課題を決定する	学 習 内 容

☆ 今日の学習をふりかえりましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・メディアとのかかわり方について、関心をもつことができましたか。

◎ ○ △

### めあて

文章構成を考え、筆者の主張を読み取ろう。

1 構成表をもとに本文を分けよう。

## 文章構成表

結論	本論	序論	構成 形式段落
			おおまかな内容

一学期に学習した説明文の構成について、思い出してみよう。



2 筆者の主張を五十文字以内でまとめよう。

				(50字)				

3 筆者の意見の述べ方のくふう

くふうではないでしょうか。( )



効果

☆ 今日の学習をふりかえりましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・文章構成を考え、筆者の主張を読み取ることができましたか。

◎ ○ △

# めあて

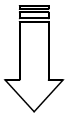
序論部分のグラフの効果と本論の構成について考えよう。

1 序論部分のグラフについて考えよう。

グラフから読み取ったこと

教科書103ページの  
グラフを挿入

2 筆者の意見の述べ方のくふう



## 効果

3 本論部分を分けてみよう。

本論		構成
		形式段落
		おおまかな内容



「しかし」「このことを」「もっと」などの言葉に着目して分けてみよう。

☆ 今日の学習をふりかえりましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・グラフの効果と、本論部分の構成について考えることができましたか。

◎ ○ △

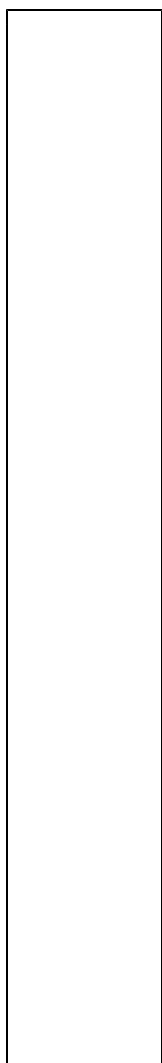
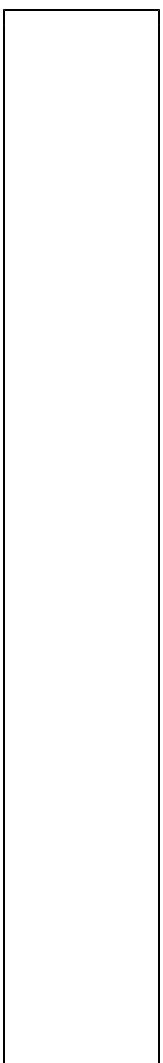
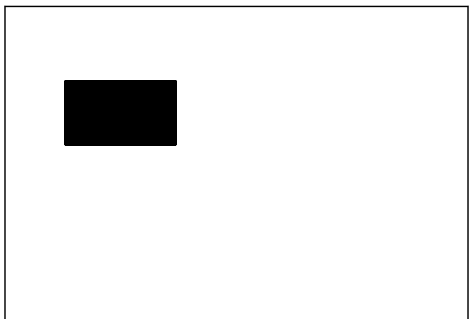
# めあて

「黒い部分」と「白い部分」の図の意味を考えよう。

1 第五段落を読んで、「黒い部分」と「白い部分」の図の意味を整理しよう。

「黒い部分」

「白い部分」



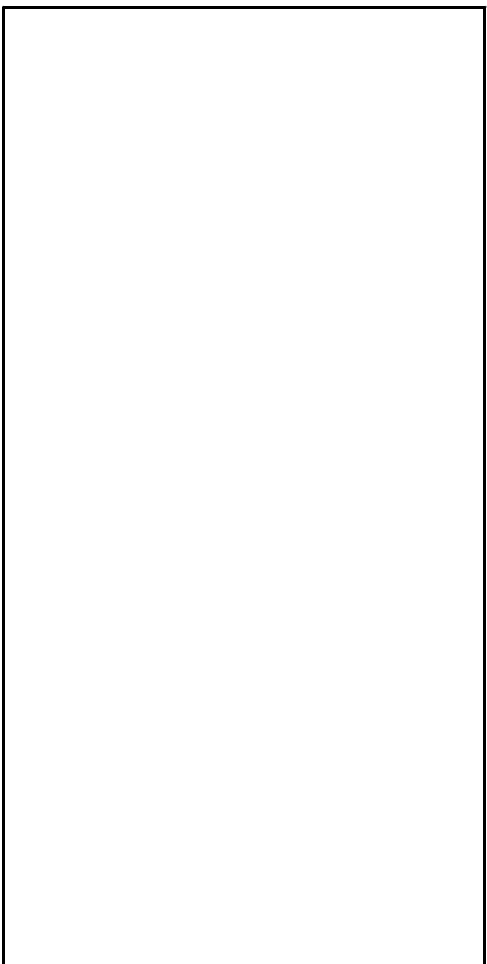
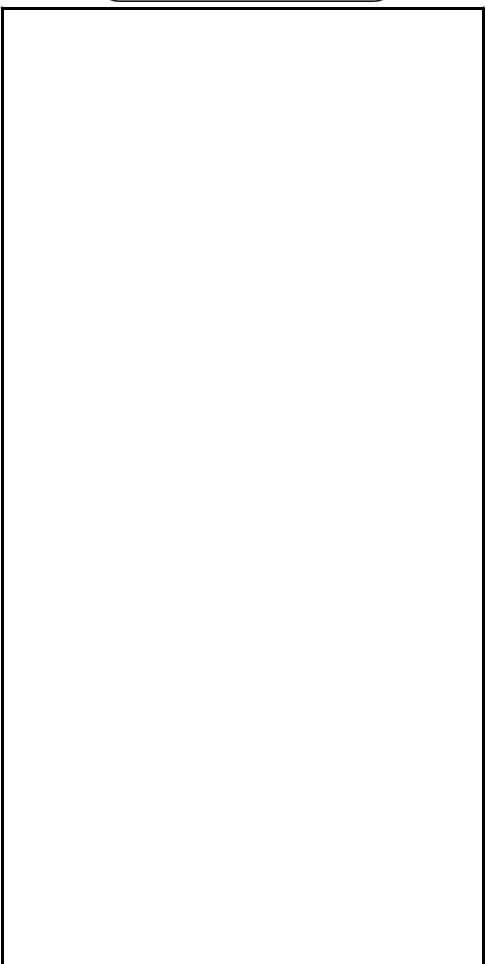
2 本論部分の他の段落を読んで、「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を見つけよう。



分かりやすく整理  
することも  
心がけてみよう。

「黒い部分」

「白い部分」



☆ 今日の学習をふりかえりましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

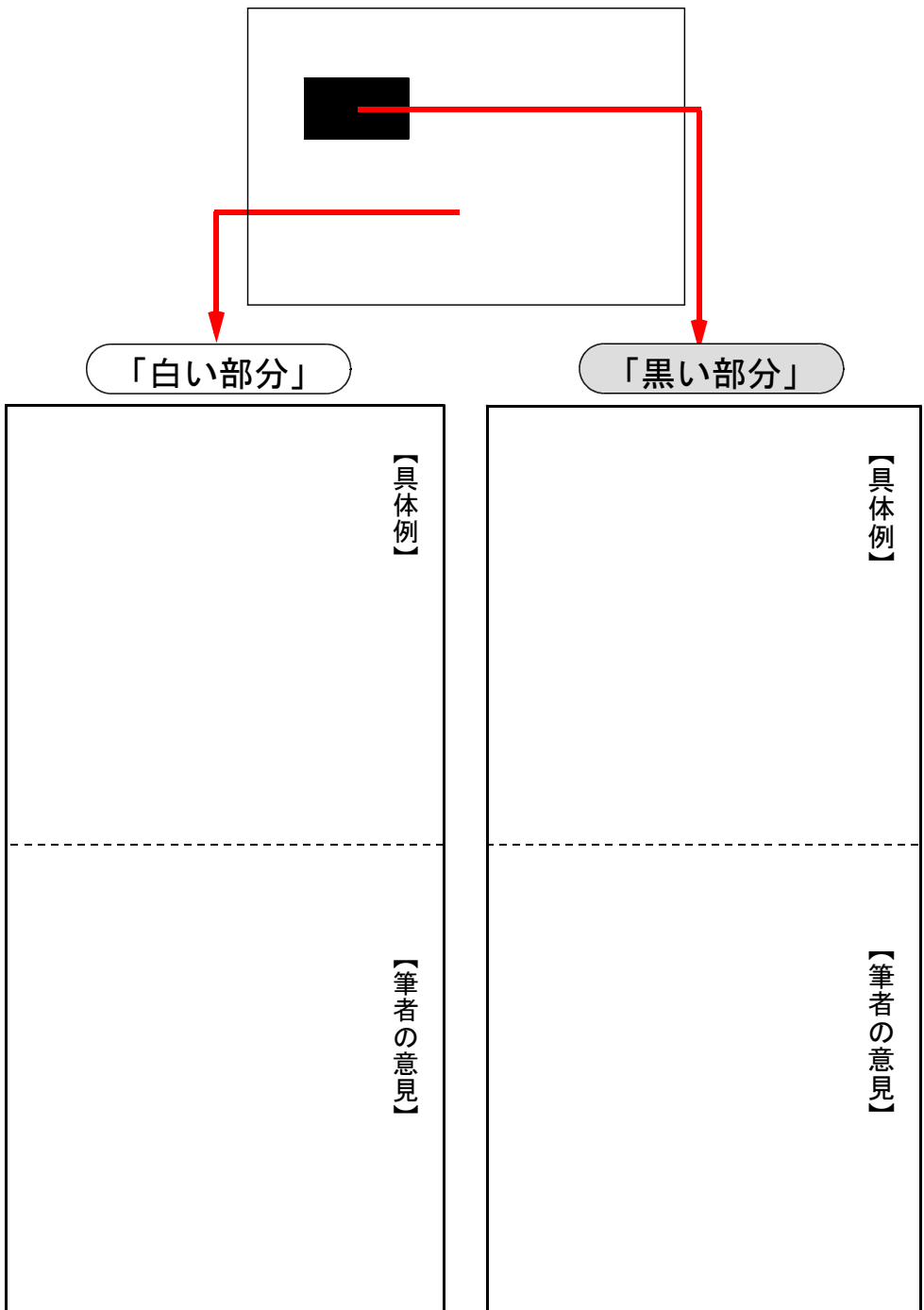
・「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を見つけることができましたか。

◎ ○ △

# めあて

筆者の考えを読み取り、意見の述べ方のくふうを考えよう。

1 「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を整理しよう。



2 筆者が図を使って伝えたかったことをまとめよう。

A vertical rectangular box with two vertical dashed lines, intended for summarizing the author's intended message.

3 筆者の意見の述べ方のくふう

A vertical rectangular box with a dashed line near the top. Above the dashed line is a box containing the text 「図や具体例を用いる」 (Using diagrams or concrete examples). Below this box is a downward-pointing arrow, and below the arrow is a rounded rectangle containing the text 「効果」 (Effect). This section is intended for discussing the author's writing style.

☆ 今日の学習をふりかえりましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・筆者の考えを読み取り、意見の述べ方のくふうに気づくことができましたか。

◎ ○ △

# めあて

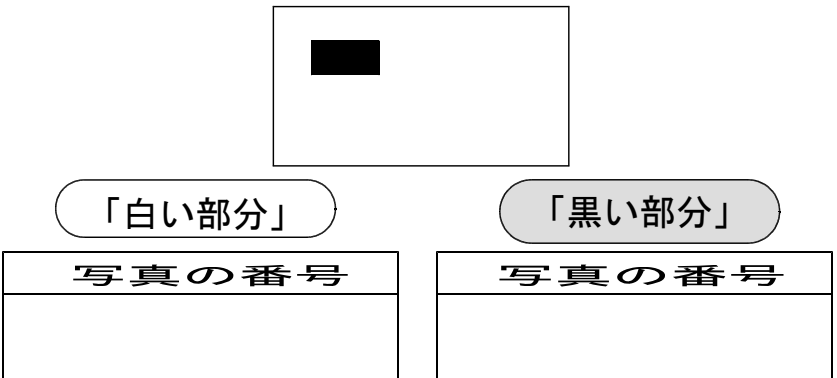
資料「写真の伝わり方」の内容を、「黒い部分」と「白い部分」を使って説明しよう。

1 資料「写真の伝わり方」での筆者の考えを読み取ろう。

筆者が伝えたかったこと

このように

2 「黒い部分」と「白い部分」の図を使って、資料「写真の伝わり方」の内容を説明しよう。



四枚の写真のどれとどれが「黒い部分」あるいは「白い部分」に当てはまるのか書いてから説明するのもいいし、写真①と②、写真③と④に分けてから説明する方法もありますね。

3 書いたものを交流しよう。

4 「テレビとの付き合い方」と資料「写真の伝わり方」に共通して言えることをまとめよう。

「黒い部分」は ( ) を表していて、  
 「白い部分」は ( ) を表している。

☆ 今日の学習をふりかえりましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・「黒い部分」と「白い部分」の写真や図を使って説明することができましたか。

◎ ○ △



# めあて

意見文にまとめるための構成メモをつくらう。

## 構成メモ

○ 題名

とのかかわり方

○ 選んだ  
メディアの  
特ちょう

「黒い部分」

「白い部分」

○自分が考えたこと（意見）

☆ 今日の学習をふりかえりましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・筆者の意見の述べ方のくふうを参考にし、意見文にまとめるための構成メモをつくることができましたか。

◎ ○ △

# めあて

意見文にまとめるための構成メモをつくろう。

## 構成メモ

○題名

広告（ちらし）

とのかかり方

○選んだ

メディア

の特ちょう

スーパーマーケットの広告は、特定の日や日曜日などに、安い品物やタイムサービスなどお店の情報を知ることができる。

### 「黒い部分」

- ・おいしそうな写真
  - ・たくさん量
  - ・ねだんを強調する大きな文字
  - ・見た人を引きつける言葉
- 一部分の情報に、目が行きがち。

### 「白い部分」

- ・数のせいげんがある。
  - ・タイムサービスの時間が限られている。  
(すみに小さく書いてある)
- 実物は写真よりも小さかったり少なかったりする。  
他の多くの情報に、目が行かない。

○自分が考えたこと（意見）

広告は、大きく書かれた文字やきれいな写真ばかりに目が行きがちだが、「○○グラム当たり」や数量など、細かい部分まで見る必要がある。

☆ 今日の学習をふりかえりましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・筆者の意見の述べ方を参考にして、意見文にまとめるための構成メモをつくることができましたか。

◎ ○ △



## めあて

意見と具体例との関係に注意して、意見文にまとめよう。

### 1 意見文にまとめよう。



- ① 『 ( ) とのかかわり方』という題名をつけましょう。
- ② メディアの特ちょうについて書きましょう。
- ③ 内容の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる具体例を書きましょう。
- ④ 自分が取り上げたメディアについて具体例から言えること、あるいは今後のメディアとのかかわり方について自分の考えを書きましょう。
- ⑤ 文末表現を工夫しましょう。「〜ないでしょうか。」「〜しましょう。」「〜」など

### 「広告とのかかわり方」

みなさんは、スーパーマーケットの広告がどのようなものか知っていますか。広告は、お店が特売日やタイムサービスなどを設定して、商品を安く売るといった情報をお客さんに知らせるためのものです。

わたしたちは、広告を見ることで、その店の商品の情報がすぐに分かります。それどころか、安いねだんを強調している文字や新せんでおいしそうな写真などを見ると、すぐに買いたいと思っています。

しかし、広告にはよく見るともつと重要なことがたくさん書かれています。例えば、はん売数のせいげんが書かれていたり、「お一人様一個まで」などのただし書きがされていたりします。また、お肉などは「百グラム当たり」という文字も見られます。これらの言葉は、広告のすみに小さく書かれていることがほとんどです。そのほか、写真を見て買いに行っただけ、実物とは大きくちがったということもあります。

このように、わたしたちは広告を見るとときに、大きく書かれた文字やきれいな写真ばかりに目が行きがちです。しかし、今後は、「〇グラム当たり」や数量の表示など細かい部分まで見てかかわっていく必要があるのではないのでしょうか。

☆ 今日の学習をふりかえりましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・事実と意見を区別して意見文にまとめることができましたか。

◎ ○ △

# めあて

メディアとのかかわり方について考えを深めよう。

1 意見文を交流しよう。



友だちの発表を聞くときは、  
①「黒い部分」と「白い部分」に分けて説明しているか。  
②自分の考えを具体例を挙げてしっかりまとめているか。  
③自分の考えと比べてみてどうか。  
に注意して聞きましょう。

2 これからのメディアとのかかわり方について自分の考えをまとめよう。


☆ これまでの学習をふりかえりましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・メディアとのかかわり方について考えを深めることができましたか。

◎ ○ △